

久米島の特産品に触れ合おう

第15回久米島町産業まつり

12月4日に開催された第15回久米島町産業まつりには、多くの町民が集まりました。

毎年好評の牛汁やシイラの丸焼きなどには、早い時間から行列ができ、特産品販売コーナーでは、みかんや苗木、野菜などが飛ぶように売れ、午前中で品切れになるお店も少なくありませんでした。

恒例のクルマエビの掴み取りや、遊具コーナーでは子供たちの歓声が響き、親子で楽しめる一日となりました。



熱き牛たちの戦い

久米島闘牛まつり開催

産業まつりが開催された同日の12月4日、安村畜産の主催で「久米島闘牛まつり」が安村闘技場にて開催されました。海を越えて沖縄本島からHY命名「龍星泉」や沖縄元軽量級チャンピオン古堅モーターズ「白眉」の出場もあり、多くの観客が訪れました。闘牛たちの大きな巨体をぶつけ合う迫力に多くの観客が歓声を上げました。イベント関係者の安村学さんは「こんなにも、多くのお客さんが訪れていることに驚いた。初めて闘牛を見る観客から楽しかったと聞き、とても嬉しい。今後も続けて行けるようにしたい」と話しました。



久米島の山は素晴らしい

しま山100選に選ばれました

海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に「しま山100選」がこの度選定されました。この「しま山100選」は「しま山」を通じて、島を訪れる人にも、島の人にも魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことを目的としています。

久米島町からは雄大な東シナ海や島の自然を眺望できる島の最高峰「宇江城岳」がエントリー。「島」「山」「旅」に関する有識者の選考を経て、この度の選定となりました。

島といえば... 海もいいけど山もいい！皆さんもぜひ「宇江城岳」に登山に出かけてみてはいかがでしょうか。



キャンプ地の復興を願って

台風災害に対する見舞金ありがとうございます

今年で13回目の久米島春季キャンプ開催を決定している「東北楽天ゴールデンイーグルス」から、台風被害の復旧に役立てて下さいと11月18日久米島町へ寄附がありました。

楽天野球団は、台風18号によって被災した久米島町のために、本拠地Koboパーク宮城で募金活動を行い、ファン・監督・選手・球団からの集まった100万円を久米島町へ寄附しました。



みんなが集い楽しく過ごす

うまんちゅ交流会開催

11月17日、旧久米島中学校体育館で、久米島町障がい者家族会(鳥袋朝栄会長)主催による、平成28年度うまんちゅ交流会が開催され、今年度は交流参加者・ボランティア含め総勢122名の参加者が集いました。本交流会は「みんなが集い、楽しく過ごしたい」をテーマに、平成9年から開催され今年で20回日の節目を迎えます。開会式では、鳥袋会長のあいさつ、町社協儀間光明会長や桃原副町長が参加者を激励しました。

午前中はシャッフルボールなど10種類のゲームに参加し、昼食は社協職員による豚汁がふるまわれました。

午後は参加者が輪になりペタンクを楽しみました。普段、地域行事などに参加することの少ない障がい者が社会参加を促す目的もあり、プログラムは全て車いすでも参加できるように工夫され、ボランティアの声掛けや協力で終始笑顔の交流会になりました。

参加者は「楽しかった」「豚汁が美味しかった」「景品をもらえた」「家族と一緒に参加してくれた」と声を弾ませました。

久米島の車エビを全国へ

第7回久米島車エビフェスタ

11月26日、水産物加工処理施設前にて「第7回久米島車エビフェスタ」が開催されました。久米島車エビ拠点産地協議会の宮里会長は、「久米島は車エビ生産量が日本一である、併せて豊かな自然環境、特に黒潮育ちの質、味共に世界一美味しい車エビであることを日本全国にアピールしていきたい」と話しました。イベントでは出荷式が行われ、冷凍車エビの販売には、いち早く久米島の車エビを手に入れようと来場者が長い列を作り、車エビの掴み取りでは、多くの参加者が水槽を駆け回り、車エビをできるだけ多く捕まえようと頑張る姿が見られました。



雨にも負けず、島を楽しむ

第6回シュガーライド久米島2016

11月27日、第6回シュガーライド久米島2016が開催されました。悪天候により、全2コースを4.5kmコースに統一して実施されました。自転車で島を回りながら久米島の海や山の風景を満喫しました。奥武島を出発し、前日の26日には「島人と巡る古民家路地裏ボタリング」が行われ、自転車で久米島の集落を回り、島のガイドの案内で自然・風土・文化を学びました。



久米島の伝統を絵に込めて

「離島フェア2016」絵画コンクール優秀賞受賞

11月25日から11月27日の3日間にわたり沖縄セルラーパーク那覇(那覇市奥武山)にて「離島フェア2016」が開催されました。

今回、本イベントの絵画コンクールの部では、美崎小学校5年生の長嶺佳苗さんの「久米島紬の伝承を」と題した作品が優秀賞となりました。久米島紬を織っている様子を絵にした長嶺さんは受賞をとっても喜んでいました。

